

平成30年度前期学校関係者評価書

南アルプス市立八田小学校

南アルプス市立八田中学校

<学校関係者評価委員>

室田 直樹（学識経験者、元小学校長）

清水 秀幸（学識経験者、元中学校長）

穴水 健二（平成30年度八田小学校PTA会長）

加藤麻奈美（平成30年度八田小学校PTA副会長）

濱田あゆみ（平成30年度八田小学校PTA副会長）

戸澤 静（平成30年度八田中学校PTA副会長）

吉田 幸司（平成30年度八田中学校PTA副会長）

小沢美奈子（平成30年度八田中学校PTA副会長）

神宮司静徳（八田小学校後援会長）

1 質疑応答・意見交換

（1）小学校におけるアンケート結果について

- 「仲がよい友だちがいる」「学校が楽しい」の項目で、1割弱だが否定的な回答をしている児童がいるが、その対応をどうしているか。また、いじめやトラブルがあった時にどのように対処しているか。
- ・担任の声かけや「学級力アンケート」，「いごこちアンケート」，また，一人ひとりとの個別の懇談などにより現状把握に努めている。何かトラブルがあった場合，低学年の時は担任が前面に出ることもあるが，高学年になるにしたがい自主的な解決を促すなど，対応している。また，子どもたちが，楽しんで友達との関係づくりができる時間も設けている。さらに丁寧な対応をし，気を付けていきたい。
- ・困ったことを相談するのに，低学年では先生や保護者の割合が圧倒的に高いが，高学年になるにつれ友達を対象とする割合が高くなる。学校としては，トラブルがあった時にそれを解決する力をつけることと同時に，人間関係を学ぶ場であるにとらえている。

（2）中学校におけるアンケート結果について

- 来年度から中学校に導入される「特別の教科 道徳」に伴って，今まで行事の時間にとられてしまうこともあったようだが，どのような見通しか。
- ・「特別の教科 道徳」については，教科書を使つての授業が行われる。生徒一人ひとりの成果等については，文章標記にて行っていく。なお，小中合同校内研究会において，9年間の教育課程にも取り上げ，平成31年度のものを作成している。
- 中学校の各教室前に設置されているタブレットについて，それを見て行動している生徒が少ないようだが，どうか。
- ・朝の会において担任は連絡をせず，生徒はタブレットにおいてその日の情報を自ら得る，というつもりで進めてきたが，実際には朝の会で担任から連絡することもあった。これからは，担任からの連絡はタブレットの情報以外（職員朝礼で出された

こと)とし、生徒が活用できるようしっかり環境を整えていきたい。

○教職員の回答にCやDがついているが、学校に批判的なものがあるのか。

- ・学校自体への批判ではなく、自分への評価を厳しく捉えていると考えている。

○生徒に対して「おまえ」「おまえら」と言う先生がいる。先生は生徒に言ってはいけないことを指導するが、先生が言っている。これはいかがなものか。

- ・改善していきたい。

○以前は不審者対策からか、あいさつする生徒がわずかだったが、最近はまだ元気なあいさつが増えている。

- ・ありがたいことです。

(3) スマホの危険性とその対応について

○スマホの保有率が上がり、これからもその傾向は変わらないだろう。今までは問題傾向があるような児童・生徒を指導すればよかった面があるが、今は比較のおとなしく問題傾向にないように見える児童・生徒が危険なことに関わっているケースが多々あり、今までのようなわけにはいかない。スマホ操作等の様々な知識は子どもの方が上にあるので、保護者向けの学習会をぜひお願いしたい。

- ・PTAの全国大会に参加したとき、「子どもを危険から守る部会」においてスマホに対する講演会が行われた。そこで知ることができた講師等、参考になれば紹介したい。

- ・親と教師が連携してやっていかななくてはできないことで、もう猶予はない。早急に取り組んでいきたい。

(4) 教師の多忙化について

○学校の先生は忙しすぎると思う。PTAとして何か活動できることはあるか。どのように協力すれば、活動がしやすくなるか。

- ・小中の行事の精選や学校応援団の再整備を考えている。また、これから地域コミュニティを進めていきたい。そのために、市教育委員会において、小中一貫(分離型)教育についての条例等に関わることを整備してもらい、地域と学校がともに歩んでゆく体制づくりに努めていきたい。

(5) この会のもち方について

○この会を始める時間が、働いている人にとっては早すぎる。

- ・第2回の学校関係評価委員会以降は、7時開催とする。